

高千穂鉄橋エリア

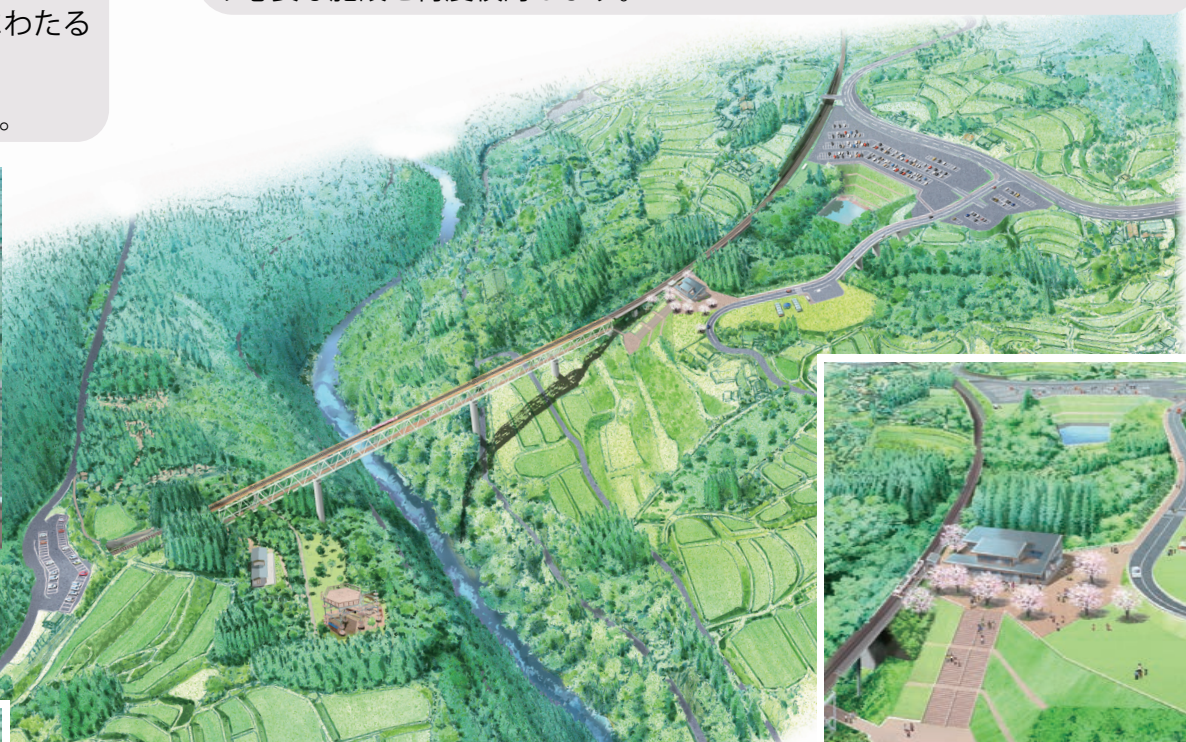
基本計画では
鉄橋内部歩廊化を計画

PFI 方式で、周辺の景観や高千穂鉄橋の歴史が感じられる歩廊を整備
定期的な点検・補修により長期にわたる維持管理、活用が可能。
このエリアは、町が事業費を負担。



鉄道公園全体

「持続可能な観光地づくりに繋げること」
「滞在時間の延長や他産業へ効果を波及させ地域内の好循環に繋げること」
「周辺にある棚田などの景観や高千穂鉄橋を活かした公園整備をすること」
等の基本方針や整備方針をもとに、魅力的な観光地となるように公園範囲や必要な施設を再度検討します。



県道7号・天岩戸駅エリア

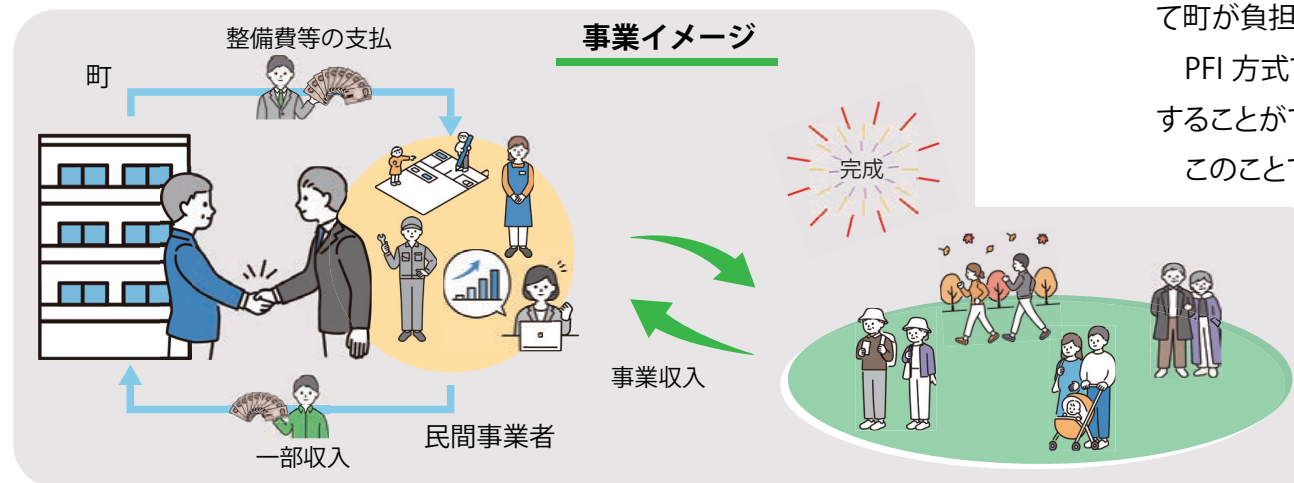
基本計画では
駐車場 260 台程度・進入路
収益施設 500 m²程度（岩戸：あまてらす館程度の大きさ）
休憩施設・トイレ棟・歩廊入口等を計画。

PFI 方式で、利用者数を算出し必要最低限の大きさ・景観に配慮した利用しやすい施設となるよう再検討。
このエリアでは、収益施設を民間事業者が、それ以外の施設は町が事業費を負担。

大平・大平山トンネルエリア

基本計画では
収益施設 500 m²程度（岩戸：あまてらす館程度の大きさ）・駐車場 70 台程度
アスレチック・歩廊入口
アトラクション施設等を計画

PFI 方式で、利用者数を算出し必要最低限の大きさ・景観に配慮した利用しやすい施設となるよう再検討。
このエリアは、民間事業者が事業費を負担。



今月号は、PFI 方式での整備等について、もう少し詳しく説明します。

PFI 方式とは、「民間事業者と協力して事業を実施する方式で、**公共施設等の建設・維持管理・運営等を、民間事業者の (1) 技術力や経営力・(2) 資金、(3) リスク管理等、活用・分担して行う事業手法**となります。鉄道公園のような町が直接実施するよりも効率的かつ効果的に公共サービスを提供できる事業に PFI 方式を取り入れ実施していくことになります。

(1) 民間事業者の技術力や経営力の活用とは？

これまでの公共施設は、町で事業内容を検討して設計を行い、施設を整備して維持管理運営を行ってきました。

PFI 方式では、設計から民間事業者と協力して進めていきます。事業の初期段階から民間事業者のアイデアや技術力を活用し、設計・施設整備を行い、経営力を活用した維持管理運営が可能になります。

鉄道公園では、基本計画で検討した施設利用者数や施設の大きさ、整備内容を再検討した上で整備し、管理運営していくことになります。

(2) 民間事業者の資金の活用とは？

これまでの公共施設は、すべての事業費を町が負担して行ってきました。

PFI 方式では、必要となる事業費を民間事業者が調達し、設計から維持管理運営まで行っていくことになります。町は維持管理運営期間に分割払いで整備費等を支払います。また、収益が考えられる施設については、すべて民間事業者が整備してもらうため、町の支出はなくなります。

このことで、整備期間に必要な事業費を負担することなく施設が整備されます。また、現在は町が負担するように考えている駐車場、進入路、鉄橋改修費等の負担額について長期的な見通しが立てられることになります。

(3) リスク管理とは？

これまで高千穂温泉や天岩戸温泉など、町の施設に対するリスクをすべて町が負担してきました。

PFI 方式では、町と民間事業者が整備・維持管理・運営時のリスクを分担することができます。

このことで、長期にわたる事業継続や施設の維持等に繋がります。